

やまなし地域福祉フォーラム2025 開催要項

趣旨

やまなし地域福祉応援プラットフォームは、「孤独・孤立を防ぎ、誰一人取り残さない地域共生社会の実現」を目標に、地域における支え合い活動（地域福祉活動）の活性化を図っていくため、令和5年度より活動を始めました。本プラットフォームでは、多様な団体・人々とのパートナーシップにより、地域における課題に取り組むための場となるよう、県内外における様々な取り組みを学び合う時間や、ネットワークづくりに関する取り組みを行い、「課題を知る・仲間と出会う・実践してみる」の3つの視点を大切に活動を行っています。

「やまなし地域福祉フォーラム」は、年に1回、県内の関係者が一堂に集まり、共通するテーマについての学びを深め、顔の見える関係づくりを進めることを目的としています。

開催テーマは「つながりをはぐくむ」。フォーラムをつうじて県内の活動者同士のつながりをはぐくみ、新たに何かが生まれる。そんなつながりのチカラが広がるような時間とします。

主 催 やまなし地域福祉応援プラットフォーム（事務局 山梨県社会福祉協議会）

後 援 山梨県、山梨県社会福祉協議会、山梨県民生委員児童委員協議会、
山梨県社会福祉法人経営者協議会、山梨県ボランティア・NPO センター（予定）

日 時 令和7年2月3日（月）13時～16時30分


会 場 山梨県立図書館 【全体会場】 イベントスペース
【テーマ別懇談会】 テーマ1 イベントスペース東
テーマ2 イベントスペース西
テーマ3 2F 多目的ホール

対 象 下記の関係者のほか、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

- (1)やまなし地域福祉応援プラットフォーム加入団体
- (2)社会福祉法人ならびに福祉関係事業者
- (3)民生委員・児童委員
- (4)NPO 法人
- (5)ボランティア団体
- (6)教育関係者（スクールソーシャルワーカー、社会教育関係者ほか）
- (7)企業関係者
- (8)学生
- (9)行政ならびに社会福祉協議会

費 用 無 料

内 容

<p>○オープニングトーク (13時～14時)</p>	<p>(1)あいさつ (2)趣旨説明 山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室 (3)オープニングトーク 『地域とのつながりでつくる包括的支援・重層的支援体制整備の取り組み（山梨市）』 やまなし地域福祉応援PFアドバイザー保坂 和輝 さん 山梨市役所 高齢者・介護支援課 支援つなげる担当 長野 博 さん、宮本 佳代子 さん</p>
<p>○インプットトーク (14時～15時10分)</p>	<p>「現代社会における孤独と不安～つながりが減少する社会において地域に何ができるか～」</p>  <p>早稲田大学文学学術院 文化構想学部 教授 ^{いしだ みつのり}石田 光規 さん</p> <p>現代社会において大きな課題となっている「孤独」や「不安」。その発生メカニズムには私たちがつくり上げてきた「社会環境」が大きな影響を与えています。現代社会のシステムが生む孤独や不安に対し、多様な人々で構成する「地域」という場に何ができるのか？現代社会における人間関係を紐解きながら、考えていきます。</p> <p>【略歴】 東京都立大学大学院社会科学科単位取得退学。博士（社会学）。大妻女子大学専任講師、准教授、早稲田大学文学学術院准教授を経て2016年より現職。孤立やつながりづくりなど、現代社会の人間関係に焦点をあてて研究をしている。著書として『「友だち」から自由になる』（光文社、2022年）、『「人それぞれ」がさみしい』（筑摩書房、2022年）、『友人の社会史』（晃洋書房、2021年）、『孤立不安社会』（勁草書房、2018年）、『つながりづくりの隘路』（勁草書房、2015年）など多数。2021年11月から内閣官房孤独・孤立対策担当室『孤独・孤立対策の重点計画に関する有識者会議』委員。</p>
<p>休憩・移動</p>	

<p>○テーマ別懇談会 (15時20分～16時30分)</p>	<p>テーマ1 「活動を支え合う“ネットワーク”のこれからを考える」 【コーディネーター】 ○山梨県立大学人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授 高木 寛之 さん 【話題提供者】 ○蓬沢いきいきサロン 代表 猪狩 裕太 さん ○やまなし地域こども食堂グループにじいろのわ 代表 内藤 陽一 さん ○南アルプス市 市民部 市民活動センター 市民活動アドバイザー 保坂 久 さん</p> <p>近年、地域の居場所づくりや子ども・子育て支援など、様々な民間主体による活動が広がりを見せています。しかし、その活動には人知れぬ苦労や大変さがあり、試行錯誤を繰り返しながら、活動を続けています。そこで支えになるのは、実際に活動している仲間同志のネットワークです。互いの悩みや知識・経験を共有し、活動を支え合う「ネットワーク体制」が重要であり、仲間の存在が持続的な運営に影響するともいえます。テーマ1では『ネットワーク×支え合い』の実践を行っている方々からそれぞれの取り組みを学ぶとともに、これからの活動を支えあうネットワークについて考えます。</p> <p>テーマ2 「働きたいに寄り添う“就労サポート”を考える」 【コーディネーター】 ○NPO 法人 大志 理事長 井上 能孝 さん 【話題提供者】 ○社会福祉法人小菅村社会福祉協議会 事務局次長 加藤 弘美 さん ○株式会社ササキ 常務取締役 管理本部／サスティナビリティ担当 障害者職業生活相談員 佐々木 麻彩 さん ○北杜市役所 福祉保健部福祉課 生活支援担当 就労支援員 野口 洋子 さん</p>
-------------------------------------	---

障害や心身の不調、長期間就労の経験がないなど“働きづらさ”を抱えており、すぐに就労することが難しい方に、就労の体験や訓練など一定の配慮と支援により環境を整え、一般就労に向けてのステップアップを促進する「福祉的就労」や「中間的就労」という取り組みが行われています。人手不足が深刻化する中、誰もが活躍できる社会づくりをすすめ、地域の産業を支えていくためには、段階的な就労サポートの仕組みをより一層広げていくことが重要です。

テーマ2では県内で先駆的に取り組まれている企業や福祉事業者からその取り組みを学ぶとともに、『企業×福祉』による就労支援のこれからについて考えます。

テーマ3

「災害時の地域コミュニティを支える“福祉教育”を考える」

【コーディネーター】

○社会福祉法人長野県社会福祉協議会

まちづくりボランティアセンター 主査 山崎 博之 さん

【話題提供者】

○防災ネットワークしもすわ 副会長 高橋 敦子 さん

○ボランティア団体 防災ブレーメン 代表 三枝 則子 さん

○社会福祉法人昭和町社会福祉協議会 係長 小沢 和典 さん

本年1月に発生した能登半島地震では、高齢化が進む過疎地域という困難な状況の中、住民が自主的に避難所を開設し、お互いの生活を支え合うなど、「地域力」の重要性を改めて認識することとなりました。支え合う「地域力」を高めていくためには「防災知識」とともに「人への理解」を広げる必要があり、「命を守る・くらしを支える・語り伝える」という『防災×福祉×社会教育』の連携による“福祉教育”が鍵となっています。テーマ3では災害時に地域コミュニティとどのように支え合いの活動を展開してきたのかを長野県の事例から学ぶとともに、長野・山梨両県の活動事例をつうじて、平時からの世代を問わない防災・福祉教育のこれからについて考えます。

閉会 (16時30分)

申 込 別紙参加申込書をメールまたはFAXにてお送りいただくか、申込書に記載のQRコード先フォームにてお申込みをお願いいたします。

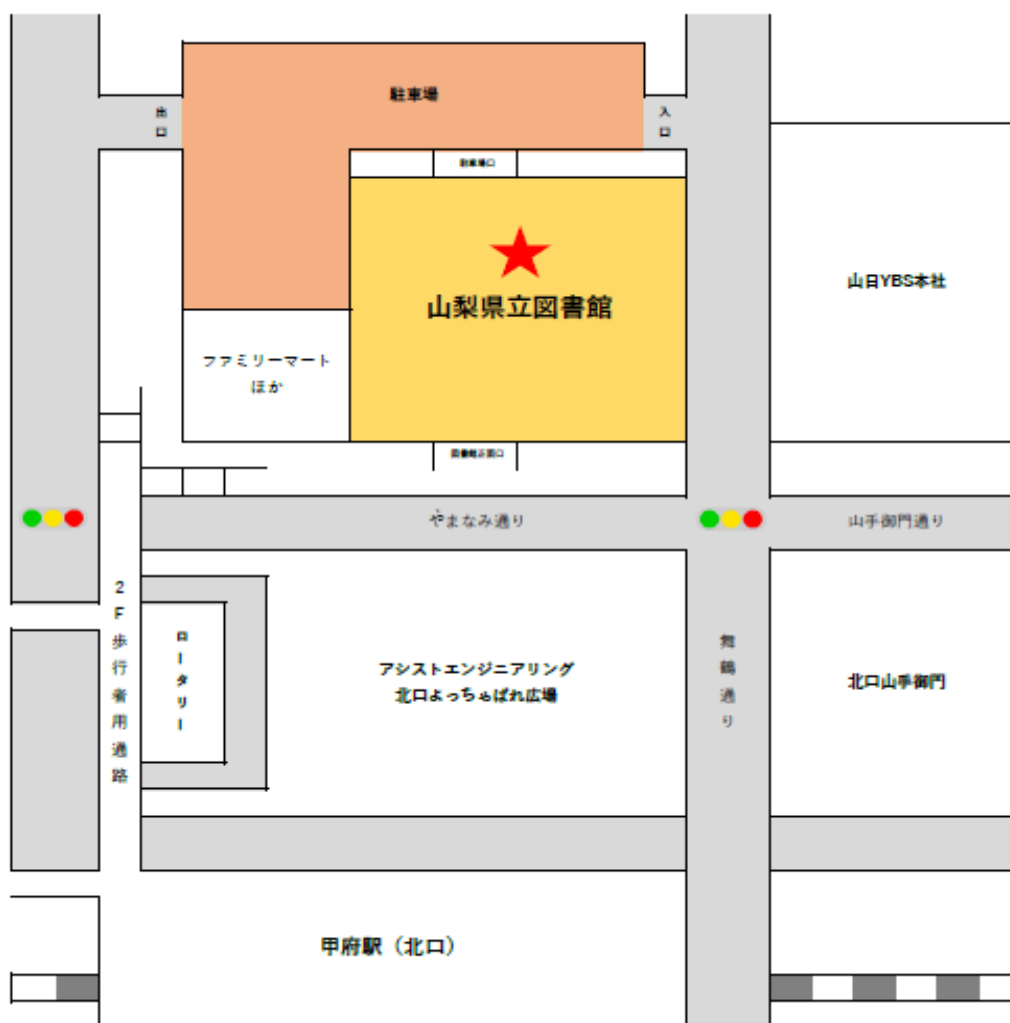
申込締切：令和7年1月30日（木）

団体でまとめてお申込みの場合は「参加人数」「テーマ別懇談の参加希望先人数」「貸切バスでの来場の有無」を確認いただき、申込をお願いします。

問合せ先 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会 コミュニティ再生推進室（担当：矢巻）

TEL 055-254-8696 FAX 055-254-8614 MAIL chiikipj@y-fukushi.or.jp

会場案内



【備考】上記駐車場は図書館利用者優先のため、近隣のコインパーキングの利用にご協力をお願いいたします。